

外装は原風景に映える深紅のメタリックカラー！

ボディは深紅のメタリックで全ツヤ鏡面磨き。最も視認性が高く、自然の中で美しい色です。平成18年製の車両2両(なのはな号)を設計改造し、車両メーカーの高度な技術で塗装。

DESIGN



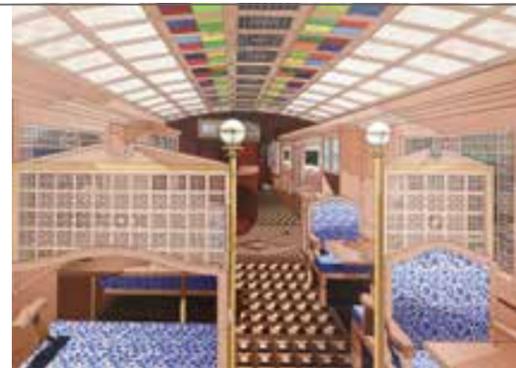
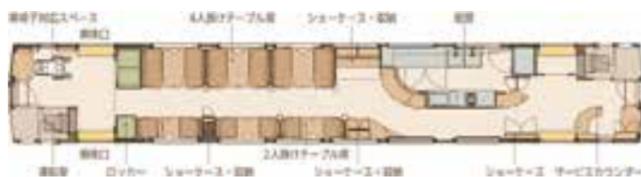
BODY

車両庫で塗装したばかりの深紅の鏡面ボディ。沿線の自然豊かな原風景を映しながら走る姿が今にも想像できます。

日本初、いや世界初ともいわれる天井彩るステンドグラス！

「ことごと列車」の車内を見上げると、世界初の試みともいわれている色鮮やかなステンドグラスがあなたを迎えます。

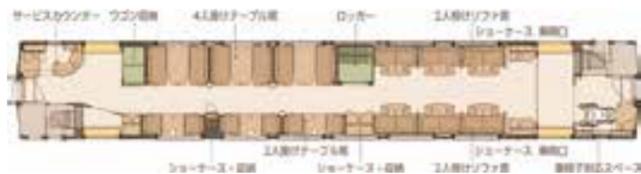
CAR NO.1



繊細な大川組子をふんだんに、組子の組床は九州初！

大川市の大川組子を床や仕切りに使用。低予算の中、「ななつ星」を手がけた職人さんの心意気で今回の装飾が実現しました。

CAR NO.2



上野焼の器に久留米餅のスタッフユニフォームなど福岡が誇る伝統的工芸品を満載！

福岡・九州の素材にこだわり、制服や器に福岡の伝統的工芸品が用いられます。車内でもオリジナルグッズを販売予定です。

UNIFORM (PLAN)



AGANO WARE

料理の器を制作している上野焼庚申窯の高鶴裕太さん(上野)。要望にこたえるため、試作を繰り返しながら来春の運行に向けて作陶中です。どんな器になるか楽しみに！



世界一ゆっくり旅する列車が福智を走る
ことごと列車 来春運行

平成筑豊鉄道(本社・福智町)が観光レストラン列車を来春3月から運行開始。世界から愛されるオンリーワンの列車がゆっくりコトコト走ります。

定員：48人
運転区間：直方～行橋(第1回)
運転期間・本数：土日祝(1日1便)



Designs & Illustrations by Eiji Mitooka + Don Design Associates

観光列車のネーミングは「ことごと列車」に決定！

「ことごと列車」は数ある候補の中から、1度聞けば覚えるネーミングということで採用されました。「こと」には3つの「事」の意味を含み、「祭事・物事・人事」を乗せ、自然豊かな原風景の中を時速20kmでゆっくりゆっくり走ります。沿線の田園風景とともに地元食材を使った料理を約3時間かけて堪能でき、懐かしい古き良き時間と空間の列車の旅を提供します。

LOGO



デザイナーはなんと、あのJR九州「ななつ星」を手がけた水戸岡鋭治さん！

地元沿線のみなさんに乗ってもらいたい

沿線を元気にするのがテーマです。初めて平成筑豊鉄道に乗ったとき、こんなに美しい田園風景があるのかと、とても驚きました。これまでJR九州で30年以上積み重ねてきたものすべてを注いでいます。「ことごと列車」が地域の観光の核となり、地域の自慢の列車となることが私の願い。ぜひ、地元沿線のみなさんにまず乗っていただきたいですね。



PARTNERSHIP

水戸岡さんと平成筑豊鉄道河合社長は数十年の交流があり「河合社長の依頼だったから今回の話を受けた」と二人の信頼関係がにじみ出た発表記者会見でした。